

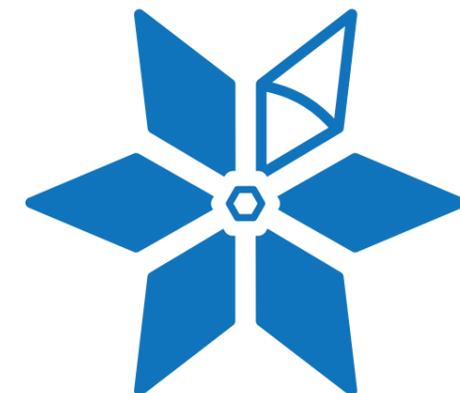


MASHIRO

ましる訪問看護ステーション

[2026年2月発行]

Mashiro Book



～ましる訪問看護ステーションのご紹介本～

新規のご相談につきまして、お電話・FAX・Mailにて承っております。
お気軽にご連絡ください。

※ 新規のご相談はいつでもお受けしております。ただし、土日祝と営業時間外については対応が遅くなる可能性がある旨、ご了承ください。

※ 訪問スケジュールについてもまずはご相談ください。ご利用者希望に合わせた調整や、土日祝の定期訪問も含めた365日での対応をいたします。

※ 退院カンファレンスにつきましても積極的に参加いたしますので、入院中(退院前)につきましても是非お声がけください。

※ グループホーム、デイサービス、放課後デイサービス(医療的ケア児・重症心身障害児の受け入れをされている場合)等と、
弊社看護師による医療連携もお受けしております。

☎ 050-5482-3534 ☎ Fax 048-611-7212

✉ info@mashiro.life

【東川口本店】〒333-0811 埼玉県川口市戸塚2-22-33 エスポワール408号室

【南鳩ヶ谷サテライト】〒332-0001 埼玉県川口市朝日2-27-18 グレース彩201

HP



LINE WORKS



e-mail



訪問看護申込書



MASHIRO

ましる訪問看護ステーション

ましてろについて / about

私らしい生き方を、この場所で。

ましてろの訪問看護は2016年に東川口でスタートをいたしました。

この土地で暮らす方々の、

私らしい生き方を、

これまでも、これからも支えてまいります。

ご挨拶

2016年2月に東川口で開所をいたしました「ましてろ訪問看護リハビリステーション東川口」は、

2024年7月をもって「ましてろ訪問看護ステーション」としてリニューアルOPENすることとなりました。

これまで代表兼管理者として「ましてろ」を牽引してきた前代表の緒方は、2022年末に新型コロナに罹患した後、その後遺症による療養が長期化していた背景もあり、「ましてろ」の運営や訪問看護業務の現場からは身を引くこととなりました。

今後、緒方は自身の体調回復を第一としつつ、後方支援といった形で引き続き「ましてろ」にたずさわっていき、将来的な現場復帰も目指していく意向であります。

これからの「ましてろ」につきましては、これまで現場を支えてきたメンバーを中心に据えつつ、新しいメンバーの参画や、新しい知見・ツールの導入もしながら、より地域に必要とされる訪問看護サービスを提供できるよう運営体制の再構築をしております。

2016年の創業から長きに渡ってご愛顧を頂いている連携先各所の皆様や、これから新たにお取引をさせていただく皆様、なによりも現在も「ましてろ」に信頼を寄せて頂いているご利用者やそのご家族といった、皆々様の期待に応えられるよう、スタッフ一同、誠心誠意努めてまいります。

新しくなった「ましてろ」を、どうかよろしくお願いたします。



会社名 ましろ株式会社
事業所名 ましろ訪問看護ステーション
〈訪問看護指定番号 1160290791〉
所在地 【東川口本店】
〒333-0811 埼玉県川口市戸塚 2-22-33 エスポワール 408
【南鳩ヶ谷サテライト】
〒332-0001 埼玉県川口市朝日 2-27-18 グレース彩 201
管理者 角田 幸恵
開所日 2016年2月(※)
事業内容 訪問看護事業

Company

会社概要

※2024年7月に「ましてろ訪問看護リハビリステーション東川口」から「ましてろ訪問看護ステーション」へ名称変更

東川口本店



南鳩ヶ谷サテライト



ましろの創業者

Message

病院のその「先」を見るために

病棟時代、私が病院以外での終末期ケアに強く興味を持つキッカケとなった1人の患者さんがいました。その方は、がん末期で腹水も溜まり、麻薬も効かない状態で大変苦しまれていました。1時間置きにナースコールが鳴るのですが、私たちには手の施しようがなく…。そのような状態なのですが、ご家族は全然お見えにならなかったんですね。詳しいことは今でもわからないのですが、あまりご家族との関係も良くない感じだったのだと思います。結果的に病院でお亡くなりになったのですが、「とても悲しい最期だな」といった想いが私の中で強く残りました。それから、「退院後はどのように暮らしているのだろうか?」「病院に顔を出さなくなった方はどうされているのだろうか?」とより一層考えるようになり、在宅に興味を持つようになっていきました。それから月日が経ち、病院でのキャリアもひと通りやり切ったという感覚を持ってたことや、子育ても一段落したタイミングで、自分の看護師としてのキャリアの集大成として訪問看護に挑戦してみようと考えて「ましろ」を立ち上げました。

訪問看護師として感じる責任とやり甲斐

病院と訪問看護の違いとして、私が最も強く感じたのは「視点の広さ」でした。病院では、患者さんのみ、場合によってはその方の病気のみ集中することができます。一方で、訪問看護の場合ですと、その方の現在の病気、これまでの病気、生活、家族、死生観といった、その方の人生そのものと言っても過言ではない、全てに向き合っていく場面が出てきます。そういった幅広い視点を持ちながら、その方にでき

る最善の看護に考えを巡らせ、時間をかけて接していくことができる、それこそが在宅の最大の魅力ではないでしょうか。訪問看護で関係性を築いていく中で、いち「看護師」ではなく、ひとりの「人間」として、ご利用者やご家族から頼って頂ける瞬間があります。そこには強い責任感が生じる反面、強いやり甲斐を感じられますし、「訪問看護師になって良かった」と感じられる、かけがえのない瞬間を得られる仕事だと思えます。



緒方 真由美(オガタ マユミ)
看護師

東京都葛飾区出身。
看護学校を卒業後、都内の単科病院や二次救急病院に勤務。途中、3人の子育てをしながらも看護師としてのキャリアは切らず、主の救命救急、脳外、整外、消化器、内科と幅広い分野での臨床経験を積んでいく。病院で亡くなっていくがん患者に触れていく中で、病院とは違う終末期医療の形を模索するようになり、「ましろ訪問看護リハビリステーション東川口」(現:ましろ訪問看護ステーション)を設立する。

ましろの管理者(NS)

病院では叶わなかったことを訪問看護で

子ども2人を育てながらでの病棟勤務をしていました。まだ子どもが小さい頃は風邪を引いたり熱がでたりすることも多く、1人が熱を出すと次はもう1人が…といった具合で、月の半分近くをお休みをいただくこともありました。そのような中で、職場の方にご迷惑をおかけしている負い目も感じていましたし、仕事に没頭できる環境にいた同期に対してスキル・キャリアにおいて差をつけられていくような焦燥感に駆られることもありました。心身共に疲弊していた私の様子を心配した職場の方から、「お互い様だから大丈夫よ。あなたの身体は大丈夫?ちゃんとご飯は食べれている?」といった温かい言葉をかけていただけたことが、とても嬉しかったことを覚えています。現在、ましろ訪問看護ステーションにおいても、メンバー同士が支え合い、悩んでいる時は声かけをし合えるような関係性を築いていきたいと考えています。

相談してみようかな、と思われる存在に

日々、様々な病気や障がいを抱えているご利用者の訪問をしています。皆さん毎日の生活の中で、たくさんの想いや希望を抱えながら、身体のこと病気のこと家族のこと等を理由にそれを諦めたり考えないようにしたりしながら生活をされているように感じます。そんなご利用者の心の中にしまっているものを、「ましろの人になら伝えても大丈夫かな。相談してみようかな」と思っていたら訪問看護ステーションを目指していきたいです。

そのためには、メンバーのひとりひとりがご利用者と視点を合わせていく姿勢を持つことや、様々な価値観・生き方を受け入れていくために、お互いを否定せず相談しあえるチームであることが大切だと思います。チームで話し合い支え合いながら、ご利用者のために前向きに学び・スキルアップしていける訪問看護ステーションを、一緒に築いていけると嬉しいです。

角田 幸恵(カクタ サチエ)
看護師

群馬県高崎市出身。
県内の三次救急病院で脳外・泌尿器・整形外科・呼吸器内科・循環器外科と幅広い領域での臨床経験を積む。仕事と子育ての傍ら大学院へ進学し保健医療学修士課程を修了。その後、看護大学の学年主任として老年看護学の教鞭を取る。埼玉県への転居を機として「ましろ訪問看護リハビリステーション東川口(現:ましろ訪問看護ステーション)」へ入職する。

「やりたい」に寄り添える場所

大学病院・クリニック・訪問看護と、様々な組織と様々な現場で働いてきました。それぞれ職場での違ったやり甲斐はありましたが、患者さん・利用者さんの「やりたい」という想いにもっとも寄り添えるのが訪問看護ではないかと思えます。自分が担当したある利用者さんと、老衰で寝たきりの女性だったのですが、訪問した際に「(毎日食べていた)アイスが食べたい」という発言あり、看護師・医師・家族とも相談の上、訪問時に一緒にアイスを食べれたことがとても印象深かったです。

自分はこれまで直行直帰の職場で働いた経験はなかったのですが、オンラインでの社内ツールで日々の報告をコンパクトにする工夫をしたり、週1回の社内ランチミーティングで顔を合わせると逆に会話が弾んだりする様子は、どれも新鮮でした。

声を聴き、受容し、意見を伝える

リハビリチームに限らず「ましろ」全体として大切にしたいことは、メンバー同士が同じ目線で向き合うことと、良いと思ったことはチーム一丸となって取り組む姿勢です。上司と部下、異なる職種、臨床経験…等々といった別け隔てをつくることなく、同じ目線で向き合い、お互いの声を聴き、受容して、その上で自分の意見もちゃんと伝える、そんな関わりの中でみんなで一緒に良いケアを模索していきたいです。

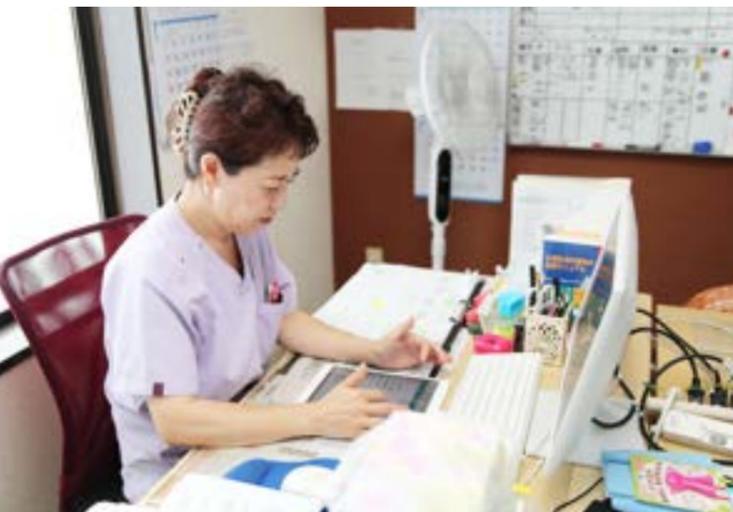
幸いなことに、「ましろ」のメンバーは相手の意見を否定せずに受け入れてくれる方ばかりなので、一緒に働いていてもとても楽しいですし、自分の目指すチームに向かっていけるのかな、と感じています。

ましろの管理者(リハビリ)



糸魚川 卓哉(イトイガワ タクヤ)
理学療法士

岐阜県出身。
大学病院にてあらゆる疾患のリハビリとそのリスク管理について学び、その後約10年間、訪問看護・通所リハビリにて高齢者の自立支援の他、お看取りや小児、ALS等難病の方への支援も多く経験。また、訪問看護ステーションでの新規開所や管理・教育といった業務の経験も持つ。2児の子育て中で、趣味はフットサルとウクレレ(練習中)。



いつでも相談しやすい雰囲気



名前 角田(カクタ)

資格 看護師

臨床経験

三次救急の病棟(外科、脳外、循環器、泌尿器、呼吸器内科、整形外科)で20年弱勤務をしました。主に、がんの診断から手術、化学療法や放射線などの治療、そして終末期看護や緩和ケアを経験しております。

管理者(NS)

一日一笑



名前 小玉(コダマ)

資格 看護師

臨床経験

病棟(整形・形成、外科・脳外科)、皮膚科クリニック、手術室、都内の訪問看護ステーションで勤務をしてきました。形成で培った褥瘡ケアの知識と経験を、訪問看護の現場でも活かしていきたいです!

主任(NS)

寄りそう気持ち



名前 鈴木(スズキ)①

資格 看護師

臨床経験

病棟(糖尿病、眼科、感染症内科、食道胃腸外科)で、主に周手術期管理、糖尿病指導、終末期ケアを経験しました。利用者さんの何気ないひと言を大切に、こころに寄り添える存在でありたいと思っています。



一人ひとりの『らしさ』を支える看護を



名前 西山(ニシヤマ)

資格 看護師

臨床経験

小児科、外科、NICU、老人ホームと、小さなお子さんから高齢者まで幅広い患者さんと接してきました。様々な年代の方との関わりを通じて、「その人に合ったケア」を提供することが何よりも大切だと学びました。

和やかな時間づくり



名前 鈴木(スズキ)②

資格 看護師

臨床経験

大学病院では主に循環器病棟で勤務し、その後は内科全般の一般病院で勤務して参りました。利用者様の気持ちに寄り添い、個々の生活や考えを大切にしたい援助を行ってまいります。

少しでも笑顔になれるように



名前 木村(キムラ)

資格 看護師

臨床経験

都内の大学病院で18年程働いていました。泌尿器科・脳外科病棟、救急外来、外科病棟、内科外来等様々な部署で経験を積み、急性期、慢性期、がんの患者さんと接してきました。

相手の立場になって考え、寄り添うこと



名前 土田(ツチダ)

資格 看護師

臨床経験

大学病院にて6年間働き、血液内科や消化器内科で出会いや別れを経験してきました。その後ご自宅での療養を支えていきたい気持ちから訪問診療・訪問看護に携わってきました。利用者様と楽しい時間を過ごしなが、つらいことも共に向き合っていきたいです。

自分や自分の親だったらどの様な看護をして欲しいかを常に考えています



名前 伊藤(イトウ)

資格 看護師

臨床経験

大学病院では循環器急性期病棟の経験があります。その他に神経難病病棟、整形外科急性期の経験を経たあと訪問看護に4年程携わってきました。「やりたい看護ではなく、して欲しい看護」を心掛けています。



いつもの生活を大切に见守ります

名前 窪田(クボタ)

資格 看護師

臨床経験

病棟(循環器、呼吸器、消化器、整形外科、療養)、外来、デイサービス、クリニックで幅広く学んできました。利用者さんや家族の方の気持ちに寄り添えるよう訪問看護をおこなっていきたく思います。



その方の普段の生活に合わせた
看護ができるよう、
コミュニケーションを大切に



名前 戸寄(トサキ)

資格 看護師

臨床経験

主に回復期、療養期の病棟で経験を積み、在宅ホスピス、訪問看護と終末期ケアについても学んできました。

OT

楽しむ



名前 大迫(オオサコ)

資格 作業療法士

臨床経験

病院にて回復期、地域包括ケア病棟にて経験を積み、その後デイケア、認知症デイ、グループホーム、有料老人ホームでのリハビリに携わってきました。日々の生活の楽しみを見つけれられるお手伝いをしていきたいと思っています。



NS

一人ひとりの生活を大切にしながら、
不安や迷いに耳を傾け
支えていきたいです。



名前 富澤(トミサワ)

資格 看護師

臨床経験

内科病棟・消化器外科病棟で勤務した後、訪問看護やホスピスでの看護に携わってきました。がんや難病をはじめ、さまざまな疾患の慢性期から終末期の方々と関わり、治療だけでなく生活や気持ちに寄り添う看護をこれからも大切にしていきたいです。

リハビリの時間が 日常の一部になりますように



名前 小林(コバヤシ)

資格 作業療法士

臨床経験

病院にて外来、一般病棟、回復期病棟の経験した後、別の訪問看護ステーションを経てましろに辿り着きました。これまでの臨床経験を生かし、利用者様の生活を支援させていただきたいと考えております。

暮らしに伴走できるように (楽しい時も、辛い時も)



名前 糸魚川(イトイガワ)

資格 理学療法士

臨床経験

大学病院にて幅広い分野のリハビリを経験後、訪問看護・通所リハビリにて在宅に携わってきました。地域に暮らす方々が「明日、今日よりもちょこっと楽しく」なれるようなリハビリを探していきたいと思います。



PT

『その人らしい生活』を応援する



名前 浦上(ウラガミ)

資格 理学療法士

臨床経験

総合病院と一般病院にて、整形外科・脳血管・循環器・呼吸器・がん疾患などの入院、外来、訪問リハビリを経験してきました。利用者さまがその人らしい生活を送れるよう、一人ひとりに合ったリハビリを心掛けています。

できるだけ長く自宅で 生活してもらうために何ができるか



名前 内海(ウツミ)

資格 理学療法士

臨床経験

病院にて整形外科疾患・脳血管疾患・循環器疾患・呼吸器疾患や外科手術前後・ガン末期、ICUでのリハビリを経験し、その後訪問看護(リハビリ)を始めて10年以上になります。幅広く対応していくことを心掛けています。

想いを受け取る



名前 細川(ホソカワ)

資格 理学療法士

臨床経験

回復期病院、特別養護老人ホーム、デイサービスにて経験を積み、一時期農業に携わることもありました。居心地の良いおうちで、安心して過ごしていく為に、今何が必要なのか、一緒に考えていけたらと思います。

いつでも笑顔の声



名前 高橋(タカハシ)

資格 事務職

コメント

みなさまとましろスタッフのスムーズな連携ができるように努めてまいります。お顔が見えなくても、「笑顔の声」を届けられるように日々精進します。



MASHIRO MEMBER

訪問看護とは

訪問看護サービスとは、看護師が医師・リハビリ職・介護職 等といった様々な職種と連携をしながら、地域で暮らす赤ちゃんから高齢者まで病気や障がいを抱える全ての方に必要な支援を提供するサービスです。



訪問看護のサービス内容

訪問看護では、身体的・精神的な直接的看護提供はもとより、入退院や入退所についてのご相談や、必要に応じた在宅ケアサービスの紹介、関連機関との連携といった各種の調整も行います。

① 健康状態のアセスメント

② 日常生活の支援

③ 心理的な支援

④ 家族等介護者の相談・支援

⑤ 医療的ケア

⑥ 病状悪化の防止
(予防的看護)

⑦ 入院/入所と
退院/退所の支援

⑧ 認知症者の看護

⑨ 精神障がい者の看護

⑩ エンドオブライフケア

⑪ リハビリテーション看護

⑫ 重症心身障がい児者・
医療的ケア児の看護

⑬ 社会資源の活用支援自治体の
在宅ケアサービスや保健・福祉サービスの紹介

ご利用までの流れ

訪問看護を受けるための手続きはその方の状況次第でいくつかのパターンがあります。まずはご自身が相談しやすい先にお話をしてみてください。



① 主治医

② ケアマネージャー ※介護認定を受けられた方の場合

③ 訪問看護ステーション

④ 地域包括支援センター

⑤ 市区町村役所の介護もしくは医療保険の相談窓口

⑥ 病院の地域連携室もしくは医療相談室

…等

ご利用料金

その方の必要と診断された医療・介護サービスや、ご年齢・所得といった状況に応じて料金は異なります。場合によっては、自己負担が軽くなる各種制度を受けることも可能です。訪問看護の契約をする際にも詳しい説明があるのでご安心ください。

自己負担割合の目安としては、月額1～3割

例えば、介護保険(1割負担)の場合は1回につき800円程度、医療保険(3割負担)の場合は1回につき3,000円程度となります。
※24年7月時点

Service

サービスの特徴

① 全領域の受け入れ

慢性期から終末期、小児(新生児)から老年、がん、難病、精神…等、あらゆる疾患・状態・領域のご利用者を受け入れます。

② 24時間 365日体制

看護師による24時間のオンコール緊急対応体制に加えて、土日祝をはじめとした365日での定期訪問もお受けいたします。

③ 看護・リハビリによる生活支援

看護職とリハビリ職が一体となってご利用者の生活をサポートいたします。

このようなご相談も対応いたします！

- 独居の方やご家族からのサポートが難しい方への「見守り」を目的とした訪問
- 急変リスクが高い方へ、24時間 365日いつでも対応
- 医療保険での連日訪問へ移行となった際(お看取り・特別訪問看護指示書…等)に途切れなくスムーズに対応
- 医療依存度の高いケースでも、途切れなく365日での定期訪問や24時間の緊急訪問が可能
- 他の訪問看護ステーションでは介入が難しいタイミングでのフォローアップ
- 土日祝でも即日対応

訪問エリア

【川口市】

戸塚/安行/神根/鳩ヶ谷/芝/新郷/青木/横曽根/中央/南平

【さいたま市】

緑区/岩槻区(一部)/見沼区(一部)/南区(一部)

【越谷市】

出羽/南越谷/荻島/蒲生/越ヶ谷/北越谷/大沢/川柳/大相模/増林

【草加市】

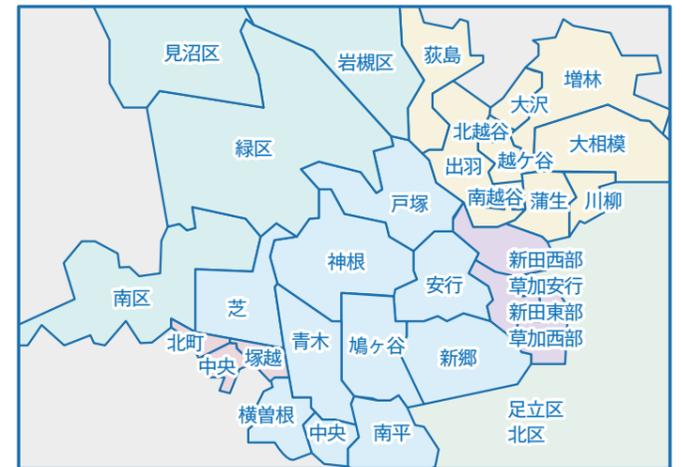
新田西部/草加安行/新田東部/草加西部

【蕨市】

北町/中央/塚越

〈東京都〉

足立区(「舎人」周辺)/北区(「赤羽」周辺)



連携先

病院

東川口病院 / 川口市立医療センター / ふれあい生協病院 / 春日部中央総合病院 / がん研有明病院 / 新越谷病院 / 埼玉県済生会川口総合病院 / 日本医科大学付属病院 / かわくち心臓呼吸器病院 / はとがや病院 / 二宮病院 / 国立障害リハビリテーションセンター病院 / 東京都立神経病院 / 埼玉草加病院 / 榎原記念病院 / 埼玉精神神経センター / 益子病院 / 埼玉県立小児医療センター / 埼玉協同病院 / 吉川中央総合病院 / 獨協医科大学埼玉医療センター / 東京都立北療育医療センター

※順不同・敬称略

クリニック

しろくま在宅診療所 / 本町クリニック / まの内科胃腸科クリニック / SKYファミリークリニック / ともクリニック / 草加内科呼吸ケアクリニック / 医療法人社団隆樹会 / いつきクリニック / 医療法人明医研ハーモニークリニック / スマイル内科小児科 / 医療法人社団悠翔会 / 悠翔会在宅クリニック川口 / 川田クリニック / あずま在宅クリニック / みわ内科クリニック / 辻川ホームクリニック / くらんど整形外科 / ひろクリニック / タムスざくらクリニック川口 / 芝西医院 / 医療法人希紹会 / 吉田クリニック / しみずクリニックふさ / つばき在宅クリニック / 埼玉川口クリニック / やじまトータルケアクリニック / こまくさ診療所練馬 / いつきクリニック川口 / ひだクリニックセントラルパーク / 益子腎臓内科透析クリニック / 関山医院 / 東川口いずみクリニック / 医療法人大西会しんえいクリニック / きむら内科クリニック / おおばクリニック / ファミリークリニック越谷 / ファミリークリニック草加 / そら内科クリニック / 武南病院附属クリニック / 徳竹医院 / 池田クリニック岩槻 / ゆずな内科在宅クリニック / とみた脳神経外科クリニック / ひらた内科・在宅クリニック / 植村内科クリニック / 赤羽在宅クリニック / 小谷場クリニック / 上青木中央病院 / とりごえクリニック / 須田医院 / みらいメディカルクリニック王子 / メディカルクリニックドクターランド在宅医療部 / 青木中央クリニック / 川口新緑訪問診療所

グループホーム

グループホームあすか東川口

デイサービス

春夏秋冬 東川口 / デイサービスもんたろう

